

学校における人権教育の推進に向けて

～ 研究指定校の実践から ～

人権同和教育課

文部科学省人権教育総合推進地域事業

夢や希望をもち、自他共に認め合う心を育てる人権教育の推進

始良市は、山田中学校区において、学校、家庭、地域社会が一体となった人権教育の総合的な取組を推進しています。今年度、中学校では、生徒がこれまで取り組んできた人権学習での学びを伝え広げる活動の一つとして、来春本校に入学する小学6年生を迎え、「人権交流学習会」を開催しました。生徒には、様々な人権課題を学び、伝える活動を通して、これからの自分の在り方生き方を深く考え、日常生活に生かそうとする姿が見られるようになっています。



【人権交流学習会の様子】

また、12月の「山田中人権旬間」には、朝読書の時間に「全国人権作文コンクール」の入賞作文から1日1編を、校内放送で朗読し、読み聞かせ活動に取り組みました。鑑賞後には、感想を記入した付箋を掲示することで、友達の思いに触れる機会となっています。

文部科学省人権教育研究指定校事業

心豊かで思いやりの心に富む生徒の育成を目指した学校づくり

瀬戸内町立古仁屋中学校は、人権学習の中で、他者理解を深めるための取組を充実させ、生徒の自尊感情の育成を図ってきました。

外部講師を活用した講演会の開催、学校行事や生徒会活動での自他の良さや違いを認め合う場の設定、他者理解を深める班活動や学習の活性化、人権が尊重される視点をもった授業づくりの推進など、全教育活動において、個々の心に寄り添い、一人一人を大切にする取組を推進してきました。こうした取組により生徒の自尊感情が高まり、自他ともに大切にする姿が見られるようになっています。



【班活動の様子】

自他のよさを認め合い、心きらめく大川内っ子の育成

出水市立大川内小学校は、自他のよさを認め合いながら、自分たちで問題を解決する児童を育成するために下表の「人権が尊重される授業づくりの視点」を大切にされた指導に取り組んできました。

5年生外国語科の授業では、自己存在感をもたせるための取組として、子ども一人一人の頑張りを褒める簡単な英単語（ハッピーワード）を教児共に積極的に活用することで、お互いを認め合う温かい雰囲気づくりに努めました。

1年生算数科の授業では、各グループがまとめた考えの共通点や差異点を見つけながら、みんなが納得する考えにまとめる活動を通して、共感

的人間関係の育成を図りました。

また、この他、発達段階に応じた人権感覚を育成し、人権問題に対する知識・理解を深めるために、人権教育年間指導計画の工夫等も行っています。

も 自 己 存 在 感 を 工 夫 を 共 感 的 人 間 関 係 の 工 夫	① 児童の実態を踏まえた様々な視点から解決できる課題設定(めあて)
	② 自由な発想を認め、誤答を大切にす。
	③ 一人一人の児童への適切な支援
	④ 承認・称賛・励ましの言葉かけ
の 工 夫	① 誰にでも失敗があるという認識に立って互いを尊重し合う。
	② 自分の考えと異なる意見や感情を否定せず理解する。
	③ 他者の発言や作品のよさに気づき学ぼうとする。
の 工 夫	① 学者の見通しをもって学習する支援
	② 教材、教具、表現方法の選択(タブレット、ホワイトボード等)
	③ 他者の気持ちや立場を考えて自分の考えや行動を選択・構成する。
	④ 他者の成果に学ぶ。(振り返り)



【10月7日研究公開の様子】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組

令和4年度は、24校を「子どもの人権プロジェクト推進校」として指定しています。3月に、県教委のホームページに指定校の取組を掲載する予定です。各学校における人権教育の推進に御活用ください。

「子どもの人権プロジェクト」でも検索できます。

